

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	豊科フィルム株式会社					
代表者名	氏名	大塚 敦彦	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	〒399-8205 長野県安曇野市豊科5050番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	18 プラスチック製品製造業（別掲を除く）				
主たる事業の概要	二軸延伸ポリプロピレンフィルムの製造・販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	8,981	8,848	8,837	9,369	8,893
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	17,176	16,901	16,922	17,923	17,017
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	1		1	1	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	0				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

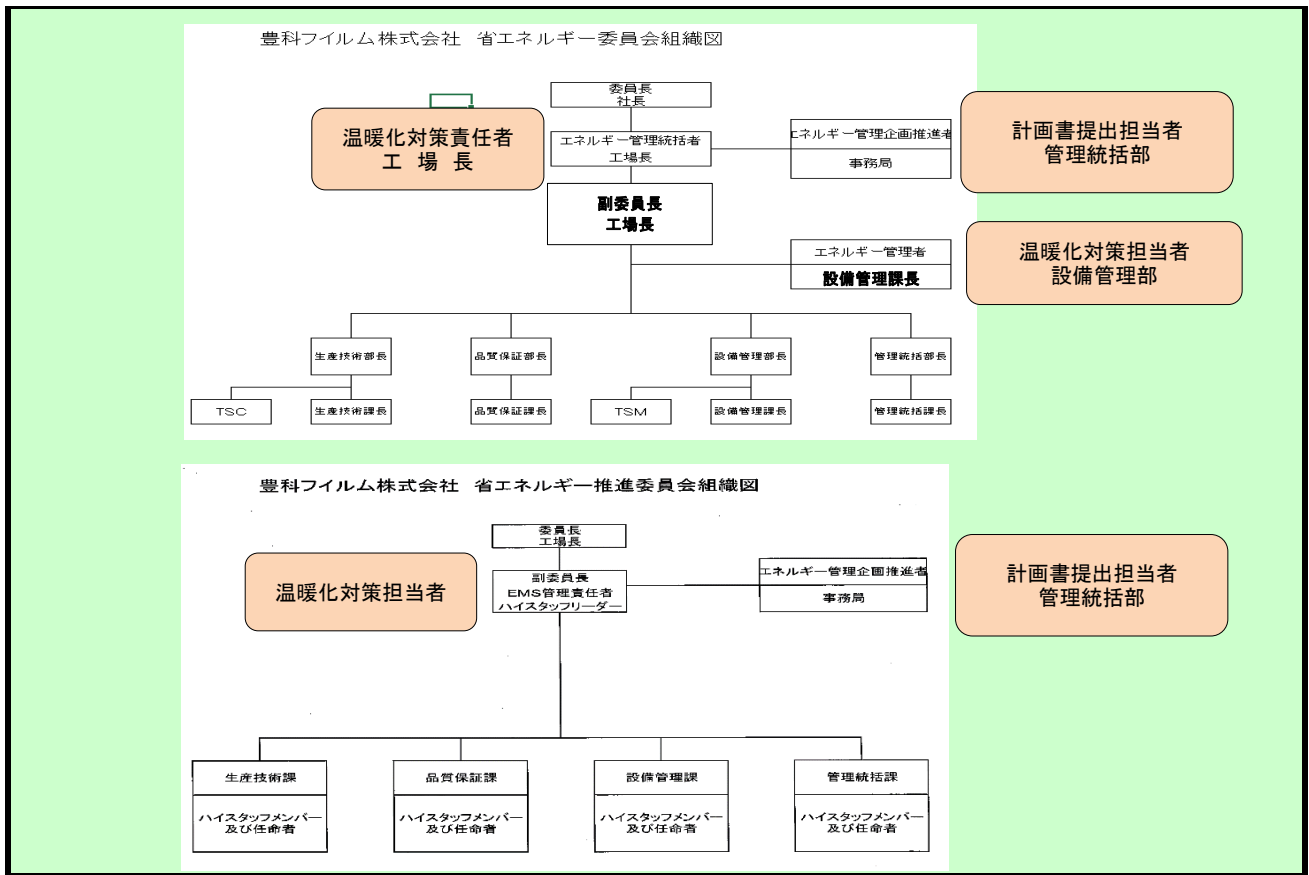
<input type="checkbox"/>	ホームページ	豊科フィルム株式会社 管理統括部にて閲覧可能 閲覧可能時間帯 平日9:00～17:00（休憩12:00～12:45は除く） 連絡先（0263）72-7300
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境目標に基づき目標を定め、進捗管理を行う。  
(環境会議、省エネルギー委員会、省エネルギー推進委員会)

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー委員会 月1回開催

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	17,176	t-CO <sub>2</sub>	生産量	331.80	単位	百 t
2019年度	調整後排出量	17,176	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	51.77	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
目標年度	目標排出量	16,901	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	50.94	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2022年度	目標削減率	1.60	%	目標削減率	1.60	%	
目標設定に関する説明	2019年度より本格運用したエネルギーマネジメントシステムを更に活用し、省エネルギー、並びにCO2排出量削減を行う。						
第一年度	排出量	16,922	t-CO <sub>2</sub>	生産量	313.79	単位	百 t
	削減率	1.47	%	原単位	53.93	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2020年度	調整後排出量	16,922	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-4.18	%	
	削減率	1.47	%				
排出量等の増減理由	受電電圧制御方式にて買電量を制御する事で、昨年度より買電量を25%削減できた。						
第二年度	排出量	17,923	t-CO <sub>2</sub>	生産量	333.41	単位	百 t
	削減率	-4.35	%	原単位	53.76	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2021年度	調整後排出量	17,923	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-3.85	%	
	削減率	-4.35	%				
排出量等の増減理由	生産量は基準年を上回る結果となったが、ガスエンジンの定期整備及び補機故障により基準年度よりも5日間多くガスエンジンを停止させた。それにより効率の良い発電量が減り、買電量が増えて原単位を悪化させた。						
第三年度	排出量	17,017	t-CO <sub>2</sub>	生産量	309.55	単位	百 t
	削減率	0.92	t-CO <sub>2</sub>	原単位	54.97	t-CO <sub>2</sub> /	百 t
2022年度	調整後排出量	17,017	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-6.19	%	
	削減率	0.92	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	今年度は受変電設備故障による停台（前年度比1.6倍）や生産設備不調による固定分のエネルギーロスが増加し、生産量としては基準年度を大幅に下回り、満足いく結果が出ていない。今後は排出量、生産量共に目標値をクリアできるように取組んでいく。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	360799	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサ等に係る削減対策	2020～2022	10	2020	3
2	エネ起	360705	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサ等の保全管理	2020～2022	10	2020～2021	75
3	エネ起	320302	スチームトラップの保全管理	2020～2022	50	2021	2
4	エネ起	360702	ファン及びブローの運転管理	2020～2022	2	2020～2021	68
5	エネ起	350699	受変電設備及び配電設備に係るその他の削減対策	2020～2022	20		
6	エネ起	320303	熱媒体等の漏えいに係る保全管理	2020～2022	30	2020～2021	74
7	エネ起	320301	熱利用設備に係る断熱の保全管理	2020～2022	50	2021	2
8	エネ起	320451	蒸気ドレンの回収利用	2020～2022	80		
9	エネ起	360701	ポンプの運転管理			2020	7
10	エネ起	320205	ボイラー負荷管理及び効率管理			2021	11

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電	kW					8.8

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	17,176	1	16,922	1	17,923	1	17,017
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	17,176	1	16,922	1	17,923	1	17,017

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	勤務体系上困難なため実施していない。 衛生週間行事として、ノーマイカー通勤を推奨している。
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	原料長距離輸送に鉄道のコンテナを利用 約90% (最寄りのコンテナ取扱い駅)

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001に準じた社内システム	2004
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

毎年、事業活動温暖化対策を実施してきているが、近年は効果を出す為の具体的な措置を抽出することが非常に困難になってきている。工場内の設備を見直し、再検討するも新規省エネ大型案件等の具体的な措置の抽出は難しい。もちろん新規案件の抽出努力はするが、今後はクレジットによるオフセットも視野に入れて検討していく。

「8. 排出抑制目標達成の為の具体的な措置」項目の追加

360703	コンプレッサの運転管理 (INV機器への更新)	2022年度実施	推計削減量	25 (t-CO2)
330205	冷却水の管理 (工業用水の有効活用)	2022年度実施	推計削減量	37 (t-CO2)
320204	加熱等設備の効率管理 (圧力設定値見直し)	2022年度実施	推計削減量	37 (t-CO2)